

北海道浮魚ニュース

平成 15(2003)年度 18 号 (通巻 No.160)

2003 年 9 月 16 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

オホーツク海サンマ漁期前調査結果

サンマすでに沿岸に 魚群は薄い 表面水温は 15 前後

9 月 8 日～12 日に稚内水産試験場試験調査船北洋丸でオホーツク海(雄武～ウトロ沖)のサンマ漁期前調査を実施しました。結果概要は以下のとおりです。

1 表面水温 - 適水温域が広がる

海洋観測点での表面水温は 13.6～18.4。もっとも岸寄りの観測点は宗谷暖流の中にあリ、その沖合は 16 以下で、この時期のサンマの分布には適した水温域が広がっていました(図 1)。

2 探索・目視 - ジャミのハネのみ、まとまった魚群わずか

夜間、航行しながらの探照灯による魚群探索調査では、サンマのハネは、ほとんど見られず、ジャミ十数尾の群れのハネが、おもに岸寄りで見られたただけでした。

また、停船して目視した観測点 2 3 点のうち十数尾以上の魚群が見られたのは、わずか 4 点で、うちウトロ沖の 1 点で百数十尾(散見)の魚群が見られました(図 2)。

全体としては、知床岬沖を除いて沖合はサンマ少なく、沿岸寄りで魚群、ハネが見られました。

3 漁獲調査 - ジャミ・小型主体

サンマが目視された 16 点(図 2)での、たも網による採集では、体長 10 cm 前後の稚魚と 20 cm 前後(最大 26 cm)のジャミ・小型主体のサンマが採集されました。紋別沖はやや大きく、網走～知床沖はジャミ・稚魚が多く採集されました(図 3)。

また、散見魚群が見られたウトロ沖の 1 点では、流し網(網目の大きさ 25 mm・1 反)によりサンマ 6 8 尾(体長 18～23 cm)が漁獲されました(図 4)。

9 月下旬に、今期の「オホーツク海サンマ漁況見通し」をお知らせする予定です。

(文責：網走水産試験場資源管理部、TEL:0152-43-4592、FAX:0152-43-4593)

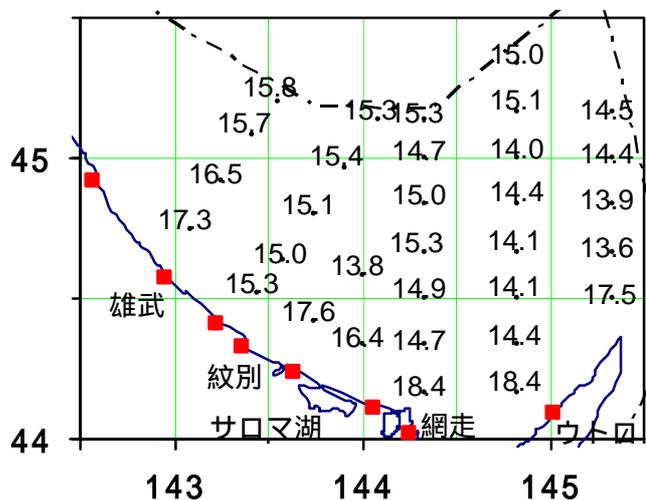


図 1 表面水温() 2003 年 9 月 8 日～10 日

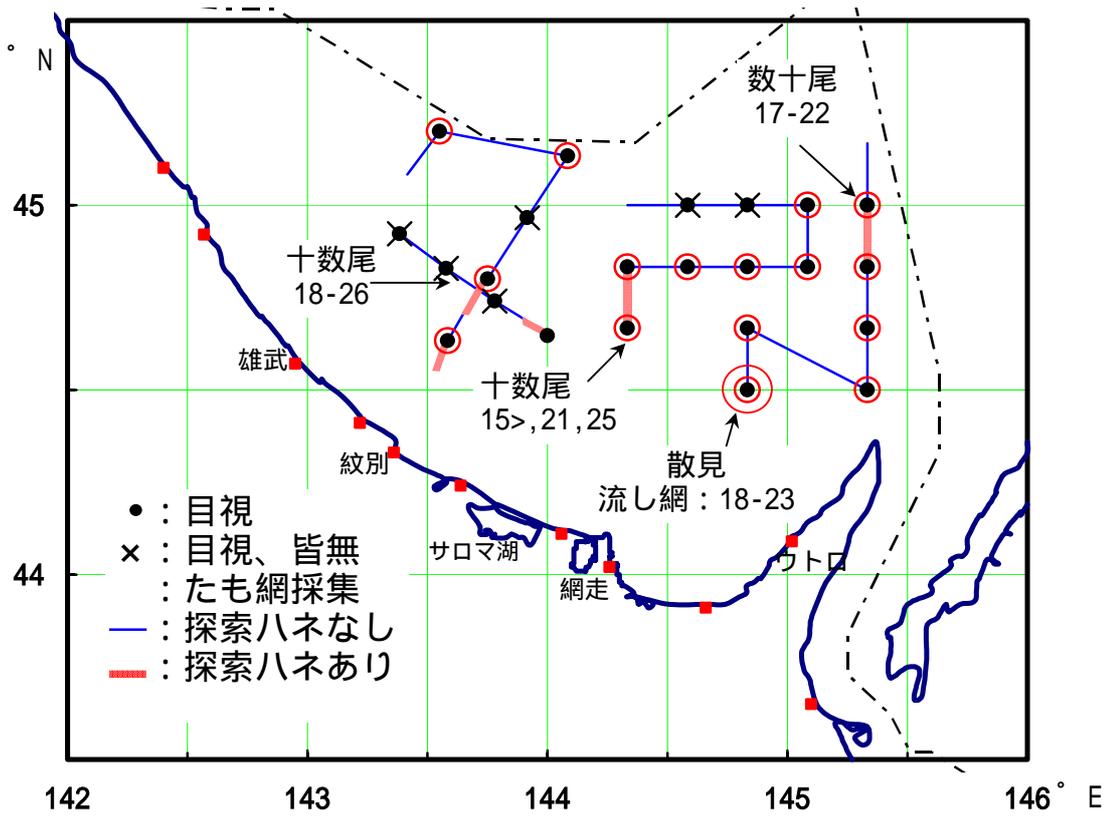


図2 サンマ魚群探索・目視・漁獲調査結果
 矢印の付いていない黒丸は数尾確認点。数字は採集されたサンマの体長範囲 (cm)

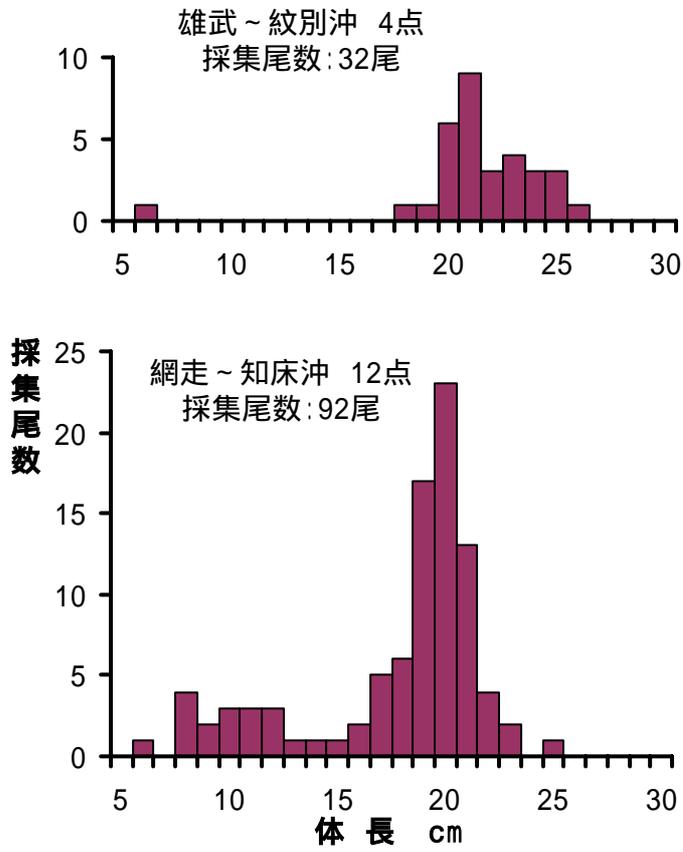


図3 たも網で採集したサンマの体長組成

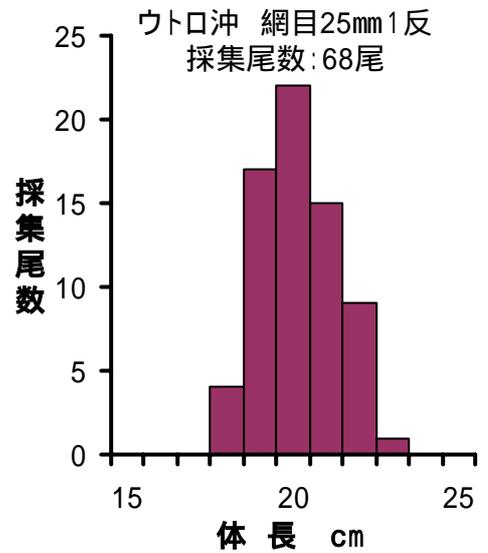


図4 流し網で採集したサンマの体長組成